

4月2日(火)

歴史は語る

聖書朗読 イザヤ書 43:1~15

わたしより先に造られた神はなく、わたしより後にもない。わたし、このわたしが主であって、わたしのほかに救い主はいない。 イザヤ 43:10~11

イザヤの言葉は、日々様々な神々を祭っている神殿の横を通り生活していたバビロンに住む人々に向けられていました。彼らは絶対的な権力を持っている君主たちに怯えて暮らしていました。イザヤ書40~55章を通して、預言者イザヤは歴史を振り返りながら、自分が信じる神様が、唯一の神様であることを繰り返し述べています。イザヤは人々に真実の神様を示しましたが、人々は聞こうとしませんでした。

今日、私たちは同じような課題に直面しています。それは新しい政治思想を広めようとする運動や、広告や、ウェブサイトや、“私についてきなさい”という言葉で人々を集めている個人のグループなど、私たちに影響を及ぼそうとしている存在にかなり支配されているのです。そして、神様に頼ることはなおざりになっています。

バビロンの通りに建てられた神殿に祭られている神々は、今は忘れ去られています。絶対的な権力を主張していた王たちはとくに亡くなり、永遠に存在する神でなかったことが証明されました。歴史が示している通り、私たちが信じる神様以外に神様は存在せず、神様の後にもどんな神々も存在しないのです。唯一の神様は、全地をお造りになった神であり、私たちの罪の身代わりになって十字架上で死んで下さった神であり、復活されて、私たちが天国へと引き上げて下さる神様です。そして、その神様は、唯一の神様です。

讚美歌 292

祈り 親愛なる神様。唯一の神であられる、あなた様に祈ります。まことに、あなた様のような方は他におられません。イエス様のお名前によって。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド / ハロルド・シャンク

4月3日(水)

あなたは神に選ばれた者

聖書朗読 エレミヤ書 1:1~10

すると、主は私に仰せられた。「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ。 エレミヤ 1:7

“ファースト・レスポnder”は事故などの現場に最初に到着する緊急対応要員です。彼らは緊急時に呼ばれるたびに、危険に直面し、その安全性に不安を感じながら活動します。彼らは、錯乱状態にある負傷者やショックを受けている人々とコミュニケーションをとりながら落ち着かせる訓練を受けています。

預言者エレミヤは、ある意味ファースト・レスポnderと言えると思います。神様は、ご自分に反旗を翻して様々な危機に直面していたユダヤ人にエレミヤというファースト・レスポnderを送ったのです。しかし、エレミヤはその大きな役割を免除してもらうよう懇願しました。自分は若過ぎて、経験不足で、自分の命を落とす危険を冒したくないし、雄弁ではないと訴えました。しかし、神様はエレミヤに耐え忍ぶ強さを与えられ、エレミヤと共にいて下さると約束して下さいました。

現代に生きる私たちクリスチャンは、広い意味でとらえると、イエス様を必要とする人々に対して、神様の愛と救いを傷つけた人々に伝えるファースト・レスポnderとして神様から任命されています。永遠の命をもたらすことができるメッセージを私たちは伝えることができます。しかし、人々は、神様の愛や自分が罪人などとは思わず、良い知らせである福音を聞きたくないと思うかもしれません。時に、拒絶や敵意に遭うこともあるでしょう。そんな中、覚えていてほしいのは、エレミヤのように、いつも神様がついて下さり、共に福音を宣べ伝えるために側にいて下さると約束して下さいました。さあ、勇気をもって人々に福音をお伝えしていきましょう。

讚美歌 79

祈り 親愛なるお父様、あなた様のファースト・レスポnderの一人として私を選んでくださり、そして周りの人を救うための強さとみことばを約束して下さり感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 モニュメント / ウィリアム E・ヤング

4月4日(木)

祈りましょう

聖書朗読 エゼキエル書 22:23~31

地は揺れ動き、天もまた神の御前に雨を降らせ、シナイもイスラエルの神であられる神の御前で震えました。神よ。あなたは豊かな雨を注ぎ、疲れきったあなたのゆずりの地をしっかりと立てられました。詩篇 68:8~9

私たちの小さな土地に新しい堀用の支柱を掘るために、夫はトラクターに18インチ(編注:約46cm)の穴掘り機を取り付け、あっという間に岩のように固い粘土質の地に1.2mの穴を掘りました。穴をのぞき込むと、その土地全体がカラカラに乾いているのが見えました。私たちの土地には切実に雨がが必要です。

この日照りの状態は、カラカラに渴いている私たちの霊的な心を表わしているように思えます。霊的な心の渴きは真の脅威となります。いのちの水であるイエスキリストは、私たちが決して渴くことがないように生ける水を与えてくださると約束して下さいました。しかし、私たちが日々の生活に忙し過ぎて、命の水を頂くのを忘れてしまう時があります。そして心がカラカラに渴いているのをほおっておいてしまうのです。例えば、忙し過ぎて、みことばに触れる機会をもてないほど忙しくしていませんか。たとえ良き働きでもみことばを聴き、祈る時間を大切にしなければ、全てが本末転倒になってしまいます。

もし、あなたが自分の心がカラカラに渴いていると感じたら、立ち止まって、時間をとってみことばに聴き、祈り、カラカラの心を満たして下さい。どうぞ、まず自分の心の渴きを見ことばと祈りで満たし、希望の戦士として神様にお仕えしましょう。そして世界のために、神様がお創りなられたすべてのために祈りましょう。

讚美歌 280

祈り 神様、私たちすべての前に現れてくださるあなた様のために祈ります。どうか物理的・霊的な雨を降らせてください。あなた様が万軍の主であることを私たちすべてが知るために、私たちを生き返らせるために、あなた様の義と、めぐみと憐みをお送りください。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 ニュー・キャッスル
バージー・ニーマン

4月5日(金)

聖なる“グラフィティ”(落書き)

聖書朗読 ダニエル書 5:22~30

あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。コリントII 3:3

ワゴン車の側面、建物、ごみ箱にスプレーで吹き付けて描かれているグラフィティ(落書き)を一度は見たことがあると思います。描かれているのは、仲間内で使われている言葉で、あるグループが別のグループに向けて送るメッセージです。グラフィティは、ピカソの絵のようにとっても抽象的であり、メッセージ性があります。私はそれらが美しいと感じる時があります。読めないのも、メッセージの内容についてはわかりませんが、その色、その技巧に美しさを感じます。今やグラフィティはそれ自体が芸術となっていて、すばらしいグラフィティ・アーティストも何人かいます。

私はダニエル書5章を何度も読んで、ある意味グラフィティと似ていて象徴的で、難解である反面、とてもインパクトがあることに気が付きました。グラフィティはダニエル書のようなのだと思います。『神の前から手の先が送られて』(ダニエル5:24)という箇所は、バビロンのベルシャツアル王に対して書かれた予言的なメッセージです。彼は、その言葉におののきました。それは、ベルシャツアルが王から退き、国は二つに分割されるという辛いメッセージでした。もし、同じことが今の時代に起き、この世のものとは思えない主の手があなたの家の壁からグラフィティ(落書き)のように伸びてきてあなたの前に現れ、あなたの未来へのメッセージが書かれていたら。「あなたは良くやっていますね」というメッセージか、「まだまだです。しっかりして下さい」というメッセージでしょうか。あなたは、そのメッセージを聞いたら、自分の家の壁のグラフィティを綺麗にふき取りたくになりますか。それとも、自分を振り返り、生活を悔い改める機会にできるでしょうか。たとえグラフィティのような手がいつ出て来ても、いつも主の前にへりくだり、主に従っていきたいです。

讚美歌 180

祈り 聖なるお父様、あなたの救いのめぐみに感謝いたします。いつの日か神様の私への裁きが“よくできました”となるよう、日々お導きください。イエス様の名によって。アーメン。テキサス州 アマリロ / ベン・メレネス

4月6日(土)

赦しの力

聖書朗読 ホセア書 3:1~5

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 ヨハネ I 1:9

想像を絶する悲劇に見舞われた夫婦の記事を読みました。彼らの一人息子が車の衝突事故で命を落としました。加害者である相手側の運転手も怪我をしたのですが、彼を看病する家族は誰もいませんでした。この悲しみに暮れていた夫婦は、そんな彼に心から同情し、彼を受け入れました。彼とイエス様の言葉を分かち合うだけでなく、イエス様の愛を自身の行いで実証したのです。最後は彼をキリストにまで導きました。この夫婦の赦しの力は驚くべきものです。しかし、神様が私たちに与えてくださった無限の赦しに比べると、はるかに小さいものなのです。

神様は、イスラエルと神様との関係を、預言者ホセアの結婚を用いて例えられました。ホセアは神様に立ち返りさえすれば、神様の無限の赦しが得られることを人々に示しました。ホセアが妻のゴメルを赦し、彼女を再び家に迎え入れたのと同じように、神様もまた、私たちがどれほど罪深い人生を送っていても、私たちを迎え入れてくださいます。人を恨むことは神様や神様に従う者にはふさわしくありません。イエス様が『私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。』と仰いました。勿論、そこでは、神が私たちの罪を全て帳消しにして下さったことが大前提で書かれています。ここでは、神が私たちのどうしようもない罪を全て赦して下さったなら、人が自分に悪いことをしたことなど赦せないはずがないのではないかと仰っているのです。

私は、人が何か悪いことをされた時、その相手を赦すことによって、神の無限の赦しをその人に示すことが出来ると思います。赦しは、赦された者よりも、赦した者の方により大きな恵みを与えるのではないのでしょうか。

讚美歌 262

祈り 義なるご在天のお父様、私たちを赦して下さり、そして私たちに対して罪を犯した者を私たちが赦すことができるよう助けて下さり感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

ケンタッキー州 フォート・トーマス / ラニータ・ブラッドリー・ボイド

4月7日(日)

あなたのお父さんは誰？

聖書朗読 ホセア書 11:8~11

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです。 ヨハネ I 3:1

「旧約聖書の神は意地悪で厳しい。」何度この言葉を、また似たような言葉を聞いたことでしょうか。しかし、正しく旧約聖書を読むならば、この言葉は出ないと思います。旧約聖書には、神様が人々に驚くべき忍耐と深い愛を示して下さることがよく分かります。

ホセア書以外では、神様が人々にこんなに感情移入をしていることを示す記述はありません。ホセア書は私の心を打ち砕きます。愛情深く思いやりのある父親は、子供を育て、あらゆることを教え、食事を与え、守り、服を着せ、そして優しく抱きしめます。しかし、その愛には見返りはありませんでした。恵みを受け取っても感謝されることはありませんでした。子供は父親に感謝することなく、去ってしまいました。

また、ホセアの妻がホセアを裏切ったように、ホセアはイスラエルの人々の神に対する不義を非難しました。どんな理由であれ、神様は神様の子どもたちを深く愛して下さっています。神様は今でも、あらゆる方法で私たちを愛し、食事を与え、ものを与え、そして気にかけて下さっています。

私たちの父はだれであるかをこの世の人々は知っているのでしょうか。神様からいただいている身に余る愛を、出会う人全てに声に出して伝えましょう。神様は全ての人々の父ですから。もし神様に背を向けてしまったら、神様を悲しませるだけでなく、父の愛を通して受け取るはずだった喜びを他の人は経験しないで終わってしまうのです。

讚美歌 324

祈り 愛情あふれる神様、私たちの愛情深く思いやりにあふれた父として、あなた様に心から感謝いたします。私たちが惜しみなくいただいたものを分かち合うことで、すべての人たちがあなた様の優しい愛を知るようになりますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド / アール D・ラベンダー